

その精神症状どうします？

はじめの処方・次の処方 こう考える・こう評価する

著：谷向 仁・岡本 禎晃

A5判／240頁／定価 3,520円（本体 3,200円＋税 10%）

発行：南江堂（2023年5月）

こんな一冊を待っていました。不眠やせん妄、不安などの精神症状に対応するための書籍や、精神症状に対する薬剤の使い方・注意点などがまとまっている薬剤中心の書籍などは今までたくさん目にしてきました。精神症状について理解を深め、実践に生かすためには、病態を学ぶ書籍、薬剤に関する書籍など、複数冊を手元に置かなければなりません。しかし、本書は、そんな数冊分を一冊にまとめてあります。

仮想症例を通して、アプローチ方法、評価のポイント、具体的な処方例、患者への接し方や多職種との情報共有のポイントだけでなく、一番の特徴は最初の処方例でうまくいかない場合の「処方変更例」までも詳

細に記載されていることです。実際の現場で遭遇する患者について、われわれ薬剤師のすべきことを一連の流れで学ぶことができます。また仮想症例では、「不眠」一つをとっても、「転倒予防を考慮した高齢者の不眠」や「不安による不眠」などと細かく症例を設定しており、実践的にあらゆる場面を想定してあります。

本書は、精神症状を学びたい若手薬剤師や薬学生だけでなく、現場で活躍する薬剤師の指南書となります。

慶應義塾大学病院 薬剤部 緩和ケアセンター 専任薬剤師

金子 健

その精神症状どうします？

はじめの処方・次の処方
こう考える・こう評価する

A5判・240頁 2023.5. ISBN978-4-524-22844-7

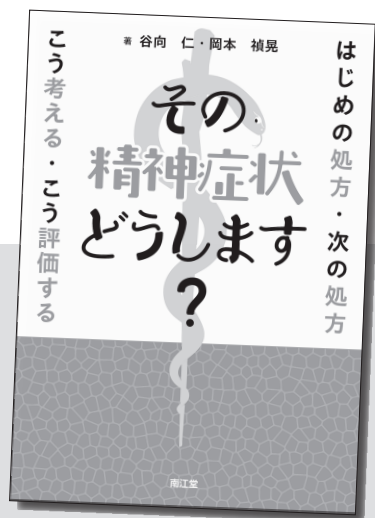
定価3,520円（本体3,200円＋税10%）

「ほんとにこの薬効いてるの？」

「この症状は副作用かなあ？」

「処方はこのままで大丈夫？」

向精神薬を精神症状に用いると、
とまどうことが多くありませんか？



南江堂

〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6 (営業) TEL 03-3811-7239 FAX 03-3811-7230

230703IT